
2023年度 事業報告書

より良い 2024 年度を創りだすため



特定非営利活動法人
今治 NPO サポートセンター

目 次

Ⅱ 2023 年度事業報告	2
1. 今治市民活動センター管理運営事業	2
2. その他の事業	11
3. 会議に関する事項について	13
Ⅲ 2023 年度決算報告	14
Ⅳ 2024 年度事業及び予算	19
1. 2024 年度事業計画書	19
2. 2024 年度事業予算書	24

Ⅱ 特定非営利活動法人今治 NPO サポートセンター 2023 年度事業報告

1. 今治市民活動センター管理運営事業

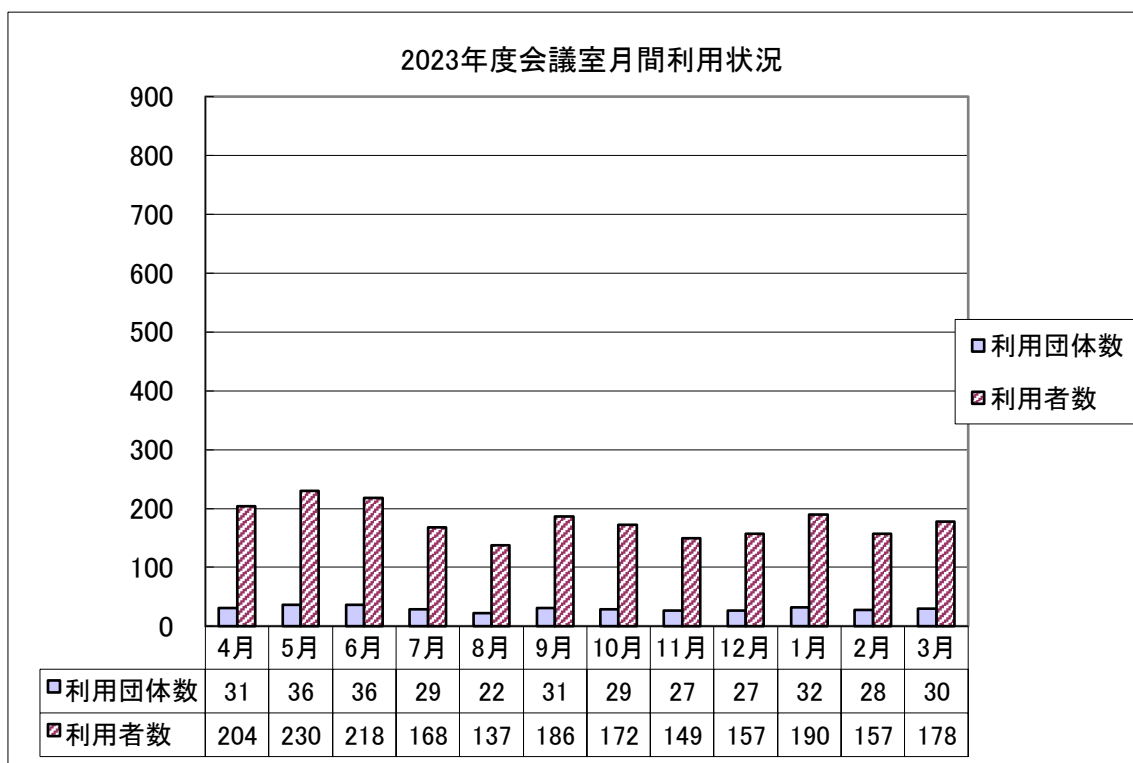
(1) 施設の運營業務（使用調整、受付・案内業務など）

内容	<p>通年事業（月から土曜日 10 時～19 時開館） （事前申込みがあれば、日曜日、祝日 10 時～18 時開館。平日 22 時まで開館）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸会議室の無料提供（登録団体に限る） ・機材の貸出 ・情報交流スペースでのインターネット回線の利用や書籍の貸出 ・貸事務所の効率的な運営
対象	センター登録者・市民ボランティア・一般
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフは使用者と積極的にコミュニケーションをはかり、意見の収集に努めた。 ・事務所入館団体募集を広報、機関紙等で行い、入館を呼びかけた。
結果	<p>会議室の利用者は 358 団体 2,146 人となった（R4 年度；422 団体 2,663 人）。今期も新型コロナウイルス感染拡大を防止しながらの運営となり、特に愛媛県による「BA・5 医療危機宣言」時（8/24～9/16）は、予約の制限を行うなど、参集しての会議の自粛を求めた。年間を通して、会議等を控える傾向は続いた。</p> <p>新規の登録については、5 件となった。登録に際しては許可手続等を適切に行い、公平・平等に使用いただけるよう、運営に努めた。新規で 5 団体、団体の解散や活動内容の変更等により、登録辞退の 1 団体があった。貸し事務室は、3 月末現在で 11 団体が入館、11 部屋を使用している状況である。</p> <p>講座、相談業務等のソフト事業実施については、年度当初から ON ラインでの対応、人数に配慮した運営を行った。イベント、ボランティア活動については、少しずつ活動が再開し、希望者にボランティアマッチングを行った。使用者と行っている「使用者協議会」等を通して、運営への意見を収集するよう努めた。なお、市と月に 1 回の定例ミーティングにおいて、状況を共有し、コロナ禍、アフターコロナを見据えた支援策について、十分に協議ができた。</p> <p>《使用者の声》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心地にあり、駐車場もあり、使いやすい。 ・1F 会議室が便利。広くて便利。 ・日、祝日の開館が助かる。 ・夜間（19 時以降）の対応が助かる。 ・雰囲気がいい。 ・無料で助かる。安価である。 ・丁寧に対応してくれる。 ・身近な存在に感じる。 ・駐車場が狭い。 ・共同トイレが少ない。 ・9:30 開館が希望。 ・2F 会議室にもヒーターが欲しい。

2023年度センター利用状況詳細

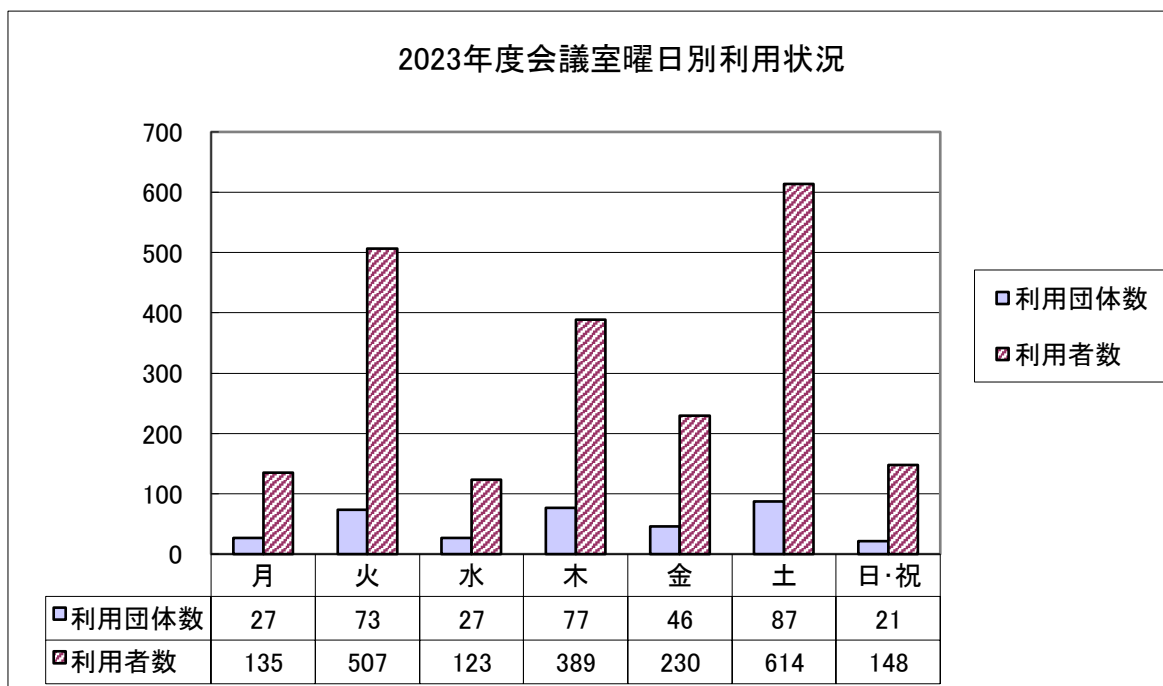
【センター利用状況(月間)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用団体数	31	36	36	29	22	31	29	27	27	32	28	30	358
利用者数	204	230	218	168	137	186	172	149	157	190	157	178	2,146



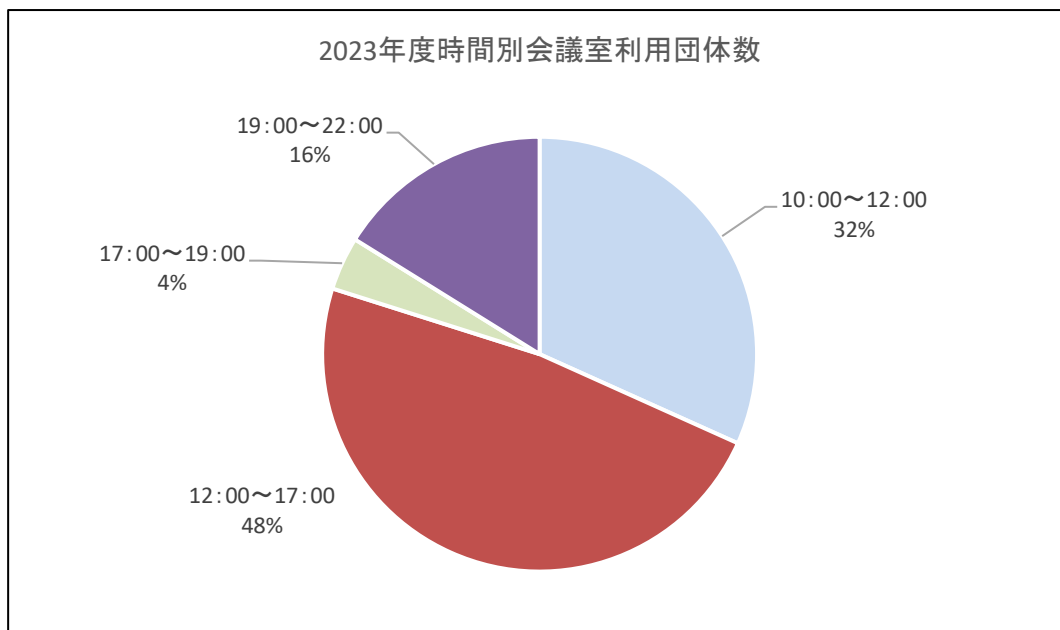
【センター利用状況(曜日別)】

	月	火	水	木	金	土	日・祝	合計
利用団体数	27	73	27	77	46	87	21	358
利用者数	135	507	123	389	230	614	148	2,146



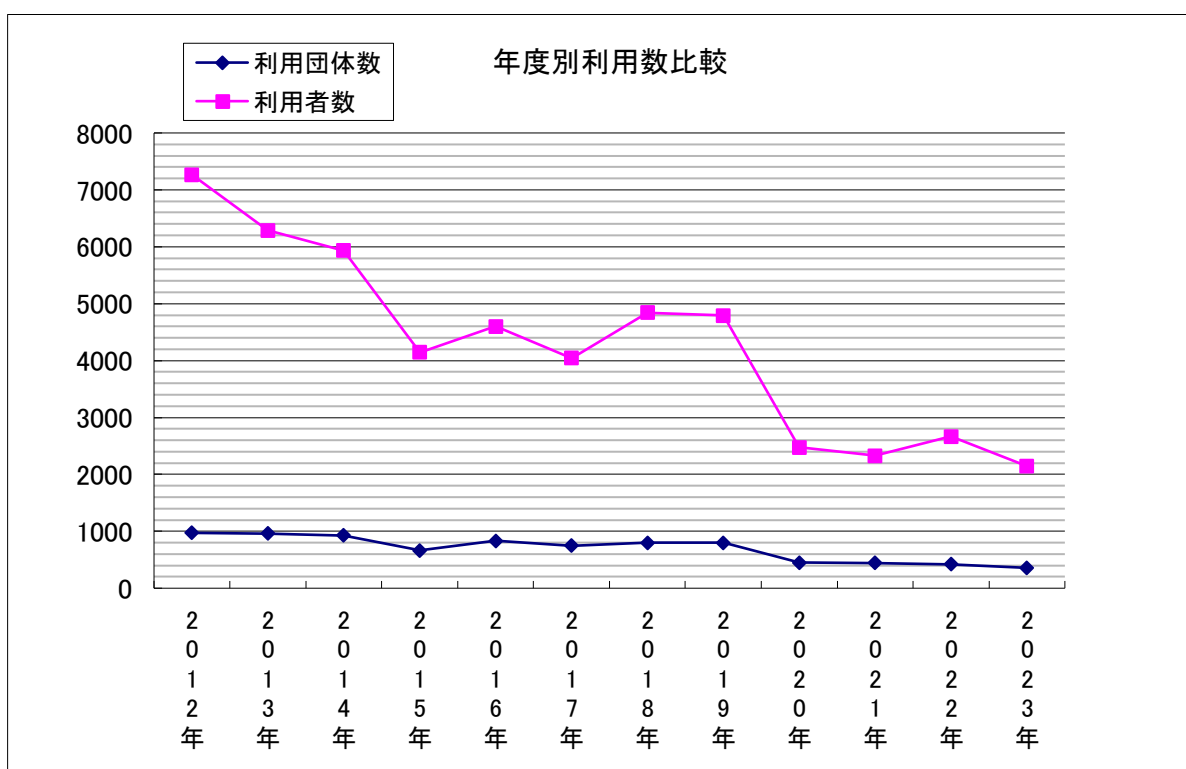
【時間別会議室利用団体数】

利用団体数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10:00~12:00	8	14	12	9	10	10	8	7	11	7	10	6	112
12:00~17:00	16	18	15	15	9	14	10	14	10	22	13	17	173
17:00~19:00	1	0	3	2	1	1	1	1	1	1	1	2	15
19:00~22:00	6	4	6	3	2	6	10	5	5	2	4	5	58
合計	31	36	36	29	22	31	29	27	27	32	28	30	358



【年度別利用数比較】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
利用団体数	972	960	929	663	833	750	796	801	449	443	422	358
利用者数	7,266	6,290	5,932	4,146	4,598	4,046	4,842	4,793	2,477	2,327	2,663	2,146



(2) 市民活動基礎講座ならびに市民活動スキルアップ講座の開催業務

内容

運営力向上につながる実務を学ぶ講座及び今治市内の多様な現場における活動状況を発信する見学会等を行った。現場見学会では多様な媒体を駆使したコミュニケーションによるつながりづくり等、新しいスタイルを取り入れた事業、サービス展開等、今治市内の多様な現場における工夫や知恵を共有する機会となった。社会変革性、当事者性等、市民活動の特性を磨きながら、企業や行政との協働の視点が必須であることを念頭に、協働のパートナーとしての成長につなぐことを共有できた。

第1回 資金調達を考える～効果的な企画書の書き方 (参集型+個別相談)

資金バランスを考えた運営、熱意やアイデアを形にする企画書の書き方など、活動の基本を解説する講座を開催した。参加団体は具体的に助成申請を検討することとなり、個別相談につながった。

日程：2023年4月・2回(2日間/同内容で開催)

手法：各回3団体程度の個別相談形式



第2回 NPO 現場見学会 (派遣型+個別診断)

地域の課題やNPOの業務を理解するNPOの活動現場の体験機会を企画した。演劇鑑賞団体の解散に伴い、今治での演劇鑑賞の機会がなくなる中、文化庁の芸術振興・地域活性化事業による上演会の現場の体験会を開催。公演に向けて活動する仲間と楽しみながら運営する活動の大切さを発信した。



日程：2023年7月22日、9月6日(1団体)

手法：みかんの会への参加

第3回 基礎から学ぶ NPOのための会計講座 (参集型+個別相談)

会計の基礎知識、書類作成のポイントについて、ワークを通して実践的に学んだ。多くの支援者を得て活動するNPOにとって、情報公開のツールとして大切な決算書類を体系的におさえる時間となった。

日程：2022年10月・1回

手法：講座・ワークショップ・個別相談形式



基礎から学ぶ NPOのための会計講座

～協働の担い手講座～



財政基盤が脆弱な団体が多く、会計処理等に関する専門的知識を持つ人材が不足している現場…。会計を負担に感じている方が多いのではないのでしょうか。ただ、活動に賛同する人や組織から資金を提供してもらい、活動を創造する私たちにとって、使用したお金の報告をきちんと行うことは重要です。今回は会計の基本を座学とワークを通して学びました。

NPOにとって会計とは

会計＝資金・資材の出入りを管理すること

第三者にきちんと説明するための客観的資料作成

NPOとしての会計報告の目的は、一般市民に対して情報開示を行うことで、社会的な信頼とより多くの賛同者を得ることです。「誰のため」「何のため」にするのかを考えると、その意義を共有しました。

★誰のため：資金を提供してくださる方（会員・寄付者等）

労力を提供してくださる方（ボランティア等）

一般市民のため（所轄庁へ提出）

★何のため：活動の分析（反省材料にする）

予算の立案（計画に従ってお金を集める）

活動を伝え、支持・支援者を増やすため

日々、帳簿をつける習慣を！

事実が発生した時点を把握！＝日頃からできることを

日々のお金の出入りについて、その都度（できれば毎日）、記録をつけていくこと！税理士の越智先生から、記録の大切さの説明を受けた参加者。時系列に証拠書類を整理しておくことも確認しました。

①現金出納帳をつける

：できれば毎日、少なくとも1週間ごとに記録！

②レシートや領収書を保管する

：1カ月単位でまとめる・時系列で貼り付ける

③1カ月ごとに各勘定科目を計算する

：月単位で経営状況を把握しておくで安心。

ワークでは帳簿作成に挑戦。実際に書類を作成していただくことでポイントをおさえることにつながりました。



▲実際の仕訳例から貸方と借方の基本を確認。

▲「活動計算書」「貸借対照表」「財産目録」を作成！

（参加者の感想）

- 基本的な会計用語から勉強になった。
- NPO法人設立準備中で、参考になった。
- 難解な部分が多い中、自分たちの力で処理しているのか…と感じた。

NPO法人会計基準の策定の経緯

NPO法人の統一した会計報告のルール

①市民にとって分かりやすい会計報告

②社会の信頼に応えうる正確な会計報告

従来からNPO法人は「収支計算書」、「貸借対照表」、「財産目録」の作成をNPO法で義務付けられていました。ただ、具体的な会計基準はなく、NPO法人が作成する会計書類は統一化されていませんでした。その結果、外部の利用者にとっては、NPO法人の活動実態がつかみにくいという課題がありました。こうした状況を改善するために、平成22年7月20日にNPO法人会計基準が策定されました。



もっと詳しく知りたい時は… [検索](#)
「みんなで使おう「NPO法人会計基準」」
財務諸表作成のために重要なチェックポイントを紹介しています！

NPO法人の会計書類

活動計算書：全体像

全体の「収益」「費用」とその差額を見せるもの
発生主義会計により、1年間の正味財産の増減を表す

貸借対照表：年度末時点の財産状況

「資産」「負債」「正味財産」のでの有高

*「資産合計」＝「負債合計」＋「正味財産合計」

財産目録：財産の内容を詳しく記載したもの

科目ごとに個別に「どこに」「なにが」あるか記載

*見た目は「貸借対照表」とほとんど同じ

財務諸表の注記：義務と任意選択の項目あり

重要視！！会計上の情報を明確にするためのもの

義務ある「7つの項目」


任意選択の「3つの項目」

個別相談会

管理費と事業費の区分、資産と負債の確認など、年度末に行い決算処理についての具体的な質問がありました。



決算書の基本理念をおさえ、具体的な処理の流れをワークで確認した講座でした。具体例をもとにした書類作成ワークは一つの経験となったようです。会計に関する悩みは色々…。お気軽にご相談ください。

	<p>《コンサルティング》</p> <p>相談者や講座参加者等の希望に応じて、専門家との仲介、内部研修や事業設計等の支援を行った。</p> 
対象	協働のまちづくり・市民活動に関心のある一般市民
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、少人数開催、個別相談形式など、参集の仕方を工夫して開催した。 ・市外の講師はオンラインでつなぐ等の手法を導入しての開催とした。 ・会計などの技術的な学びについては、税理士など、地域の専門家の協力を仰ぎ、研修会後の継続的なフォローアップにつないだ。
結果	<p>オンラインの講座は、参加者が手軽に受講できるメリットを体感できた。チャット機能を使うことで、双方向での学び合いも可能である。また、講座内容のスキル獲得に留まらず、情報受発信の新しい手法として、インターネットの利便性への気づきを得た団体があった。一方で、団体同志の学び合いの場から生まれるつながり構築は難しい。同じ規模や分野の活動団体双方が介することで、連携につながることもあることから、対面する機会の創出は模索していきたい。</p>

(3) 機関紙発行とこれに付随する情報収集業務

内容	「夢サラダ」(年間2回)、「得夢サラダ」(年間12回)を編集、発行した。また、一般市民が訪れる場所に「夢サラダ」を設置し、活動経験のない一般市民に情報を届け、市民活動の意義や魅力を伝えた。
対象	市民活動団体・一般
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の担い手を紹介することで、まちの特性を感じることができる誌面とした。 ・ホームページでも情報を伝えた。
結果 課題	<p>市民活動団体等117団体、施設・機関202箇所に配布した。配布部数は毎月冊子1,793部、掲示用346部となった。配布協力いただいている施設の閉館等があり、配布部数は微減となった。ボランティア募集やイベント開催の自粛傾向が続く中、コロナ禍での助成金・補助金情報、市外で開催されるオンラインでの講座情報等、掲載内容の収集、加工を工夫した。掲載内容は本会のホームページへ掲載し、多様な方へ情報を届けるよう努めた。より多くの方に購読してもらえよう、誌面の工夫、配布・掲示場所の開拓と共に、配信方法の工夫や見直しにも取り組んでいきたい。</p>

(4) 市民活動団体相互の交流推進業務

◆使用者協議会

2023年5月23日(火) 11:00~12:30 参加者: 11名

火災等の災害への備えとして、使用者に参加を呼びかけ、「施設防火訓練」を行った。自動火災報知設備の作動、難経路の確認、消火器の場所の確認等を確認した後、避難訓練と初期消火訓練を行った。その後、センターの管理運営業務などについて使用者の意見をもらう「使用者協議会」を開催した。センター事業の概要の説明、各団体の事業内容の紹介を通して、よりよい運営や団体間の連携について意見交換できた。



2023年12月18日(火) 11:00~12:30 参加者: 12名

センター使用者によるセンター大掃除を行い、その後、センターの管理運営業務などについて使用者の意見をもらう「使用者協議会」を開催した。使用者は互いの活動を報告し合った。在住外国人の支援活動、芸術・文化活動などの担い手などから活動の報告があり、担い手育成や未来を担う子ども達への情報提供等の必要性が共有された。なお、事務室や会議室、機材使用にあたっての不具合等を聞き取りし、修繕等の必要性の聞き取りも行った。



対象	使用登録団体・市民ボランティア・行政職員
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・今治市内の団体の活動紹介の場とする。 ・多様な活動に触れ、活動の広がりを感じてもらえる取り組みとする。 ・センターの使用に主体的に関わっていただけるよう依頼する機会とした。施設・設備、備品などのハード整備の優先順位、講座などのソフト支援の重要事案などへの共通認識構築の場とする。
結果課題	<p>会議室や事務所の使い方のルール等の見直し、講座のテーマの検討等、ハード・ソフト両面について、使用者自らが参画しながらセンター運営していけるようにするための協議の場として機能している。また、毎年1回行う防火訓練、避難訓練の場とするとともに、今期からは自動体外式除細動器「AED」設置施設として、AED使用の周知の機会とした。年度当初は、新型コロナウイルス感染拡大期を勘案し、事務室使用団体を中心に、自主点検を促した。避難経路確認、消火器設置場所の確認について、各団体の使用者が点検し、点検結果については、チェックシートを提出いただいた。12月には少人数で参集し、大掃除を使用者参画のもと行い、使用者にも施設の美化環境整備への理解を仰ぐことができた。</p>

(5) ボランティアコーディネート業務

内容	ボランティアの応援を求めている方とボランティア活動をしたい方をつなぎ、双方が対等な立場で共に問題解決を図った。
対象	ボランティアの応援を求めている組織・個人 ボランティア活動をしたい方
手法	<ul style="list-style-type: none">・今治市社会福祉協議会と連携をとりながらすすめる。・情報提供を求めている人には、機関紙「得夢サラダ」やホームページなどを利用して活動を紹介する。
結果 課題	<p>ボランティアの応援を求めている組織・個人、ボランティア活動をしたい方のコーディネートを関係機関と連携し進めた。昨年に続き、コロナ禍の中、活動現場の減少や新規の活動者の受入見送り等が続いており、マッチングが難しい1年となった。一方、夏季休暇を利用しての学生ボランティア、新たに活動をはじめたいとの声はあり、少しずつ活動への意欲が感じられた。</p> <p>感染対策を徹底してのイベント開催、福祉施設や病院等でのボランティア受入に向け、安心・安全なボランティアの活動環境について検討し、コロナ禍でもやりがいを持って楽しめるボランティア活動の現場づくり、地域コミュニティでの活動の発掘等を推進したい。</p>

(6) 相談業務

内容	団体設立や運営などのアドバイスを、電話・メール・来所にて日常的に受け付け、対応した。
対象	市民団体・行政職員
手法	<ul style="list-style-type: none">・市民活動団体が自らの課題を整理し、その解決策を発見することを支援する。・職員で対応できない専門的な質問については、地域資源（地域の専門家、他の支援センターなど様々なテーマに応えられる人、組織）を活用し、支援を行う。・初歩的な質問については、フロアーに掲示し、来館者に視覚的に知らせる。
結果 課題	団体設立や運営などの相談に電話・メール・来所にて対応した。コロナ禍の中、新しい形での運営、感染対策を徹底しての活動などへの助成、企業の社会貢献活動等の相談があった。自然災害が頻発しており、災害時における復旧、復興活動と日常的な活動の連動性等を検討する相談も寄せられた。なお、今期、島嶼部で開設している出張相談、啓発ブースは中止した。新しい生活様式の中での活動展開、災害に備えたコミュニティづくり等、地域のウォンツとニーズを見極めた提案型の支援を展開したい。

来館者アンケート

【方 法】 アンケート用紙 配布（65名）

【期 間】 2023(令和5)年11月16日～12月15日

【対象者】 「今治市民活動センター」来館者、使用者

問1. 日頃のご来館、ご利用の目的はどのようなことですか？

- ・会議（ミーティング、打ち合わせ、定例会 他）
- ・役員会（理事会、幹事会 他）
- ・事業開催（学習会、研修会、相談、座談会、視聴・試写会 他）
- ・事務作業（事務室利用、団体の活動・作業、コピー機利用 他）

問2. 「今治市民活動センター」について日頃感じていることがあればお書きください。

	大いに満足	満 足	やや不満	不 満	未記入
① 施設(建物)・設備・備品	23	40	2	0	0
② 使用規定(利用時間・料金等)	34	29	0	1	1
③ スタッフの対応	37	28	0	0	0
④ 講座・交流会等の企画	20	30	1	0	14

	① 施設(建物) 設備・備品	② 使用規定 (利用時間・料金等)	③ スタッフの対応	④ 講座・交流会 等の企画
大いに満足	・入りやすい雰囲気。 ・事務室やトイレ等がキレイ。 ・気持ちよく使える ・活動場所が限られている。 とても助かっている。	・柔軟。 ・要望を聞いてくれる。 無料で使用できる。	・スタッフから声かけがある。 ・的確で明快。 ・親切。丁寧。 ・対応が速いところ。 ・土日も対応してくれた。	・つながりのきっかけになった。 ・専門家の助言をいただけた。
満足	・必要なものが借りられる。 ・必要なものが揃っている。 ・今治市中心地にあり便利。 ・広さがちょうど良い。 ・Wifi が使えるので助かる。 ・不満な部分がない。	・無料で使用できる。 ・夜まで使えるのがいい。 ・土日の開館ありがたい。	・相談にのってもらえる。 ・気持ちよい対応。 ・親切。	・個別対応がよかった。
やや不満	・暗い。 ・もう一つ広い部屋が欲しい。	・9:30 開館にできれば。		・もっと企画をしてほしい。
				・あまりよく知らない。 ・参加の機会がなくわからない。

問3. 活動上、困っていること

活動資金が不足している。	8	寄付金が集まらない。	2
事務量が多い。	2	専任のスタッフがいない、足りない。	5
会員・ボランティアが集まらない	11	後継者がいない。	8
活動がマンネリ化している。	3	PR する場所や機会がない。	3
インターネットや SNS を使いこなせない。	2	特に困ったことはない。	36
その他	1	(未記入)	13

2. その他の事業

(1) 情報提供事業

① トークカフェ in ラヂオバリバリ

期間：2023年4月～2024年3月

協力：エフエムラヂオバリバリ

地域の情報を広く社会へ伝える手段であるコミュニティ放送を媒体に市民活動団体紹介、ボランティア情報などを毎週1回に発信した。草の根活動の動きを大きなチカラにしていくために、ラジオを通して人と人の交流を深めた。(今治市民活動センター管理運営事業自主企画事業)

② ホームページの運営

期間：2023年4月～2024年3月

センター事業の紹介と報告、ボランティア情報などをホームページに随時掲載した。広く情報を受発信することにより、ボランティア活動の仲介コーディネート業務にも役立った。また、「今治市民活動センター」事業である「まちづくりサポーター」の制度紹介のページを設けた。サービスを提供したい個人・団体の紹介を発信した。NPO等、ボランティアの応援を求める組織のニーズ紹介等を充実させることが課題である。

(2) 審議会・委員会への参加事業

行政が設置する委員会・審議会へ参加しました。

期間	名称（主催団体）	テーマ・目的
2023年4/17	今治市市民が真ん中 検討委員会	市民と行政が一緒になって地域課題の解決を進めていくために、今までの取組の見直しや、「市民参画」の具体的な方法等について、調査・検討・審議する。

(3) その他の事業

今治市の中間支援組織として、愛媛県内の中間支援組織とのネットワークを構築し、地域で抱える様々な課題に効果的に対応できるよう情報、知識・技術の習得に努めた。また、愛媛県内の多様なNPOや民間団体等と平時から顔の見える関係をつくり、必要な事業を展開した。

① 連携会議への参加

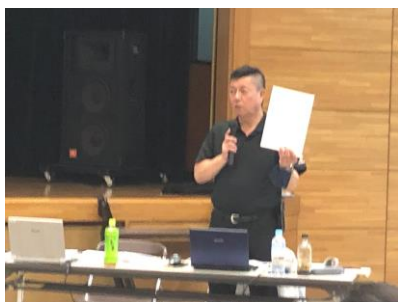
(1) 災害に備えるネットワークづくり

大規模災害発生時、今治市社会福祉協議会と地域の各種団体が連携し、災害ボランティアセンターを設置したり、地域での支援体制の構築を円滑に進めたりすること等を検討する会議に参加した。「西日本豪雨」をはじめ、過去に発災した災害における被災地支援活動の気づきをいかすと共に、必要なネットワークの構築、官民の役割分担を検討した。

・災害ボランティアセンター連絡会議

検討会議：2023年7月7日（金） / 今治市社会福祉協議会

検討会議：2023年12月20日（水） / 今治市社会福祉協議会



・研修会

「つなげる経験、つながる減災」：2024年1月19日（金） / 今治市社会福祉協議会



② 市民活動普及ブースの設置

今治市民に親しみがあるイベント、地域コミュニティや大学等と連携し、施設登録団体の周知及び施設の認知につながる情報発信を行います。

(1) 今治市民のまつり「おんまく」おんまくフレンドパーク

/今治市民のまつり振興会

2023年8月6日（日）11:00～15:00

美須賀コミュニティプラザ

(2) あさかぜ KAMAN まつり

/別宮地域食堂 あさかぜ KAMAN

2023年8月27日（日）10:00～14:00

今治市立別宮町学校体育館



③ 講師派遣

市民団体、企業・行政・教育機関などからの依頼を受け、講演・講師派遣を行った。市民社会への理解が深まり、市民の共感と参加が広がるよう、講演、ファシリテーション等を担った。

2023年 12月20日（水）	今治市立西中学校	今治市内の小中学校において、子どもの目線で今治市を支えていくために必要な視点を育てる「ふるさとキャリア教育」の講師を担った。
2024年 1月30日（火）	今治市	市民及び市民活動団体との協働推進を図るために、今治市の課及び支所に配置された協働推進委員の研修会において、講義とコーディネーターを担った。

※定款上、「その他の事業」は実施しなかった。

3. 会議に関する事項について

(1) 総会

第23回通常総会

日時：2023年4月25日

会場：今治市民活動センター 大会議室

議題：2022年度事業報告・活動決算報告の件
役員改選の件

(2) 理事会

第1回理事会

日時：2023年4月25日

会場：今治市民活動センター 大会議室

議題：2023年度事業計画・活動予算の件
総会に付すべき事項の件

第2回理事会

日時：2023年9月29日（金）12：30～

会場：今治市民活動センター 大会議室

議題：センター事業の進捗の件
協働推進、委員会参加などの件

第3回理事会

日時：2023年1月29日（月）18：30～

会場：なわぶね

議題：センター事業の進捗の件
市民活動情報の配信などの連携の件

第4回理事会

日時：2024年3月14日（木）12：30～

会場：今治市民活動センター 大会議室

議題：2024年度事業計画・活動予算
2023年度総会報告事項
役員の改選の件